

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

日本郵政グループは、「地域社会」・「地球環境」・「人」の3分野について、「CSR重点課題(マテリアリティ)」を選定し、SDGsの各目標と連動した活動を推進している。さらに、経営戦略とSDGsへの取り組みの統合を図るべく、SDGsを経営戦略の枠組に取り入れ、かんぽ生命保険としても、SDGsの達成に向けた活動を積極的に推進していく方針である。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ペーパーレス化の推進 ・Web会議による資料のデータ化 ・両面、2アップコピーの推進等	コピー用紙の使用量 対2023年度比6%の削減
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	ラジオ体操の普及推進 ・小学校ラジオ体操コンクール応募校の増加 ・ラジオ体操CDの事業所等への交付	小学校ラジオ体操コンクール応募 2023年度 6校 ⇒2026年度6校
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	働き方改革の推進 ・テレワークの推進に向け、稟議書、各種帳票のデータ化 を実践	稟議書、各種帳票のデータ化 2023年度 50% ⇒2026年度 60%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

お客さまから選ばれる真に日本一の保険会社を目指すため、お客さま一人ひとりに寄り添い、自社とお客さまの間に信頼関係を構築するとともに、社内においても、働き方改革を実践し、社員一人ひとりが働きやすい職場環境の整備を図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	ペーパーレス化の推進 ・Web会議による資料のデータ化 ・両面、2アップコピーの推進等	コピー用紙の使用量 対2020年度比6%の削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	会議資料のデータ化、両面、2アップコピーの推進等に取り組んだが、事業所の拡大により、目標未達成となった。	対2020年度比6%の増加
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	ラジオ体操の普及推進 ・小学校ラジオ体操コンクール応募校の増加 ・ラジオ体操CDの事業所等への交付	小学校ラジオ体操コンクール応募 各事業所への勧奨指標(2021年 度3校)⇒2023年度事業所におけ る応募校6校
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	事業所、郵便局において、小学校への応募の普及推進を実施し、目標を達成できた。	2023年度までの事業所における 応募校6校
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	働き方改革の推進 ・テレワークの推進に向け、稟議書、各種帳票のデータ化 を実践	稟議書、各種帳票のデータ化 2020年度 5% ⇒2023年度 30%
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	在宅・モバイルワークなど、多様で柔軟な働き方の実現を会社として取組んでおり、帳票は電子化様式に変更になり目標達成となった。	稟議書、各種帳票のデータ化 2020年度 5% ⇒2023年度 50%

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。